

生まれ育った 故郷への 恩返し。



近藤健次さん

原田 新しい総合計画では、市の将来像を「人も自然も美しく活力あふれる日本一健康文化都市」として、健康づくり事業を推進しています。

具体的には、「健康チャレンジ!! 素晴らしい運動」という活動をしています。個人それぞれが目標を立てて、ウォーキングをしたり、食事に気を付けたりして、日常的な運動習慣や望ましい食習慣の定着度をポイント化して、そのポイントに応じて、公共サービス利用券と交換します。今年初めて行う試みですが、健康になれば、本人も家族も快適で、医療費も少なくなり、市の財政も助かりますので、市民の皆さんに還元しようと考えています。



原田 近藤さんの人生において、座右の銘のようなものがあれば、是非教えてください。

近藤 座右の銘というほどではありませんが、やはり「七転八起」ですかね。

どんなに辛い時でも決してあきらめずに、常に人より一歩先に行こうと心掛けてきました。失敗した時や人生の節目節目であきらめなかったからこそ、その都度、新しい道がひらけたんだと思います。何事にもくじけず、努力と我慢が大切です。辛抱した人こそ名を残すことができるのだと思います。

将来を担う若者たちへ

原田 袋井は、少子化の時代に反して、人口が増加している元気のあるまちです。袋井の子どもたちは、近藤さんが寄附してくれたニュースを見たり、聞いたりして、身近に立派な方がいることを知ることができます。また、私は、このような方がいることを伝えていくことも大切だと思います。

近藤 私は、決して裕福な家庭で育ったわけではありません。頑張るしかない環境だったからこそ、ここまでくることができたんだと思います。

今は、昔とは時代も環境も違いますので、私のようにと押しつける気持ちはありませんが、何よりも他人を思いやる気持ちは大切だと思います。むやみにお金や物にこだわるのではなく、「善」の心を各人が持つことが大切だと思います。



まちづくりに
有効に
使います。

原田 人生を有意義なものにするには、努力や我慢、思いやりが必要ですね。

近藤 苦あれば楽あり、楽あれば苦ありですね。今回の寄附は、生まれ育った故郷への恩返しです。広くまちづくりのために有効に活用していただければと思います。

原田 本来にありますがとうございます。近藤さんが築いてきた財産を寄附していただくわけですから、市民のためになるよう有効に使わせていただきます。

